

平成 2 5 年 1 月 2 5 日

## 消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 3 5 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 8 件  
(うち石油ストーブ(開放式) 2 件、石油給湯機付ふろがま 4 件、  
屋外式(R F 式)ガスふろがま(L P ガス用) 1 件、石油給湯機 1 件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因が疑われる事故 4 件  
(うちエアコン(室外機) 1 件、サーキュレーター 1 件、布団乾燥機 1 件、  
除湿機 1 件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因か否かが特定できていない事故 8 件  
(うち介護ベッド用手すり 1 件、湯たんぽ 2 件、湯たんぽカバー 1 件、  
昇降便座 1 件、椅子 1 件、ヒーター付き靴下 1 件、延長コード 1 件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報専門調査会及び第三者委員会合同会議(※)において、審議を予定している案件  
該当案件無し

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

### 5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第 3 5 条第 1 項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

## 6. 特記事項

### (1) 株式会社オカキンが製造した屋外式（ＲＦ式）ガスふろがま（ＬＰガス用）について（管理番号A201200803）

※ 株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（ＬＰガス用）を組み込んだもの

#### ① 事故事象について

株式会社オカキンが製造した屋外式（ＲＦ式）ガスふろがま（ＬＰガス用）を使用後、異音がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

#### ② 当該製品のリコール（部品交換）について

製造事業者である株式会社オカキン及び株式会社世田谷製作所と、株式会社世田谷製作所からふろがまのＯＥＭ供給を受け、販売している他２社では、当該製品を含む対象機種（下記③）について、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部（整圧器）のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、平成１９年４月１９日からホームページによる告知により、また使用者へのダイレクトメールにより注意喚起を行い、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償点検・部品交換を実施しています。

#### ③ 対象製品等：会社名、機種・型式、製造期間

| 会社名       | 機種・型式                                                                                             | 製造期間                                                                                                                                                                                          |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (株)オカキン   | OK-A R型-LE<br>OK-B R型-LE                                                                          | 1997年11月～2006年8月<br>1997年11月～2006年7月                                                                                                                                                          |
| (株)世田谷製作所 | R38B<br>R137B<br>CS31B<br>CS32B<br>CS33B<br>FE15<br>TA-097UET<br>TA-270UET<br>TA-OK270UET<br>GS-1 | 1998年5月～2006年5月<br>1997年6月～2006年5月<br>1998年6月～1998年8月<br>1998年10月～2006年4月<br>2001年5月～2001年6月<br>2000年4月～2006年5月<br>1997年9月～2006年5月<br>1997年8月～2006年5月<br>1997年8月～2006年5月<br>2000年11月～2005年11月 |
| 東京ガス(株)   | ST-913RFA<br>ST-912RFBシリーズ<br>ST-9150CFS                                                          | 1997年6月～2006年5月<br>1998年5月～2006年5月<br>1999年10月～2006年5月                                                                                                                                        |
| (株)ハーマン   | YF702                                                                                             | 1997年6月～2002年2月                                                                                                                                                                               |

改修対象台数

39, 337台

改修率

72. 1%（平成24年9月30日現在）

対象製品の確認方法：浴室内に下記リモコンのどちらかが設置されている場合は、上記対象表の機種・型式、製造期間が該当していないか御確認ください。



※ GS-1のストーブは除きます。

#### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、対象製品には、ガスふろがま用バーナー及びバーナー付ふろがまを製造している株式会社世田谷製作所と、同社からバーナー付ふろがまのOEM供給を受け、販売している東京ガス株式会社及び株式会社ハーマンの製品もあります。

(株式会社オカキンの問合せ先)

電話番号：0120-581-126

受付時間：9時～19時（日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.okakin.com/news/0.html>

(株式会社世田谷製作所の問合せ先)

電話番号：0120-634-126

受付時間：9時～17時（平日のみ。）

ホームページ：<http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/cgi-bin/pdfdata/20081211220036.pdf>

(東京ガス株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-133-278

受付時間：9時～19時（月～土）

9時～17時（日・祝日）

ホームページ：<http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html>

(株式会社ハーマンの問合せ先)

電話番号：0120-248-772

受付時間：9時～17時30分（平日のみ。）

ホームページ：<http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2007/04/post-14.html>

(2) 東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）が製造した石油給湯機について（管理番号A201200807）

①事故事象について

東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）が製造した石油給湯機を使用中、異音に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（無償改修）について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、電磁ポンプの制御弁に使用されているＯリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生し、漏れた灯油に引火して火災に至る可能性があることから、事故の再発防止を図るため、平成１４年１０月２４日から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行っています。また、販売店・サービス店を通じて、リコール対象機種がないかの確認を継続実施しており、平成２１年１２月からの取組として、戸建住宅へチラシを直接配布し、対象製品の改修促進を図っています。

更に、全石連（全国石油商業組合連合会、全国石油共済協同組合連合会）を通じて、４７都道府県の石油商業組合及び石油組合に加盟している石油販売事業者の協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないかの確認を行っています。

社団法人日本ガス石油機器工業会では、同構造の電磁ポンプを有する石油給湯機を製造した事業者等６社と共同で、新聞社告を新聞各紙に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼び掛けを行っています（詳細は、⑤参照。）。

③対象製品等：会社名、ブランド、機種・型式名、該当製造年月日

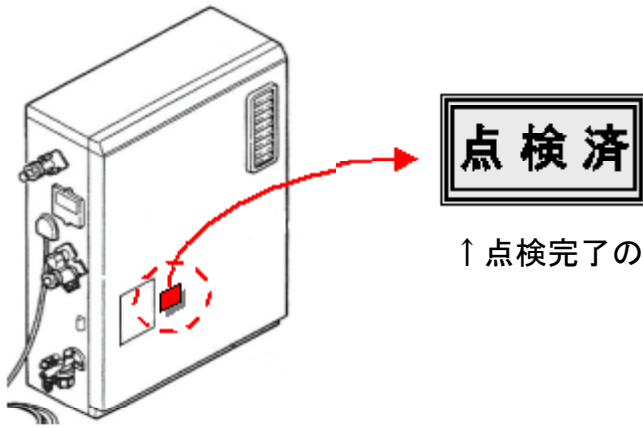
| 会社名                    | ブランド             | 機種・型式名                                                                | 該当製造年月日                              |
|------------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 東陶ユプロ(株)<br>(現TOTO(株)) | T O T O          | RPE32K *    RPH32K *<br>RPE40K *    RPH40K *<br>RPE41K *    RPH41K *  | 1995年（平成7年）8月<br>～<br>1999年（平成11年）6月 |
| 長州産業(株)                | C I C            | PDF-321V    DX-411D<br>PDF-401A    PDX-321V<br>PDF-411D-A    PDX-411D |                                      |
| ネポン(株)                 | N E P O N        | URA320    UR320<br>URA320S    UR320S<br>URB320    UR404S<br>URB320S   |                                      |
| (株)日本ボイラー<br>メンテナンス社   | 日本ボイラー<br>メンテナンス | UFA-333A（湯F O）                                                        |                                      |
| 高木産業(株)<br>(現 パーパス(株)) | パーパス             | TP-BS320 * D<br>(但し、TP-BS320は除く。)<br>TP-BS402 * D<br>TP-BSQ402 *      |                                      |

※製品名の末尾の＊には英数字が続きますが、すべて該当品です。

改修対象台数      １８９，９４４台

改修率              ８８．３％（平成２４年１２月３１日現在）





↑点検完了の場合はこのシールが貼付されています。

#### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、改修対象製品には、東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）の「TOTO」ブランドのほか、長州産業株式会社の「CIC」ブランド、ネポン株式会社の「NEPON」ブランド、株式会社日本ボイラーメンテナンス社の「日本ボイラーメンテナンス」ブランド、高木産業株式会社（現 パーパス株式会社）の「パーパス」ブランドの製品もあります。

（TOTO株式会社の問合せ先）

TOTO株式会社、長州産業株式会社ブランド、ネポン株式会社ブランド、株式会社日本ボイラーメンテナンス社ブランドの製品

電話番号：0120-444-309

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く。）

ホームページ：<http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm>

（パーパス株式会社の問合せ先）

電話番号：0120-575-399

受付時間：9時～18時（土・日・祝日・年末年始を除く。）

ホームページ：<http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html>

#### ⑤社団法人日本ガス石油機器工業会及び製造事業者の取組

社団法人日本ガス石油機器工業会では、石油給湯機等について上記リコール開始後も未改修品での事故が発生しているため、同じ構造の電磁ポンプを有する石油給湯機等を製造した株式会社ノーリツ、東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）、長州産業株式会社及びOEMを含む6社と共同で、平成20年11月から12月にかけて、順次、新聞社告を新聞各紙に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

また、同工業会のホームページにおいて、東京ツチヤ販売株式会社及び株式会社ワカサの2社を加えた8社について注意喚起をしています。

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

対象製品等：ブランド名<会社名>、機種・型式名・製造期間、問合せ先

| ブランド名<会社名>                          | 機種・型式名・製造期間                                                                                                                                          | 問合せ先                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NORITZ<br><株ノーリツ>                   | OTQ-302 * OTQ-303 *<br>OTQ-305 * OTQ-403 *<br>OTQ-405 * OQB-302 *<br>OQB-305 * OQB-403 *<br>OQB-405 *<br>製造期間：平成9年3月～平成13年3月                         | ホームページ<br><a href="http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html">http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html</a><br>電話番号：0120-018-170                                                                                                   |
| ハウステック<br><日立化成工業(株)<br>(現株ハウステック)> | HO-350 * HO-360 *<br>HO-450 * KZO-460 *<br><株ノーリツ製><br>製造期間：平成9年3月～平成13年3月                                                                           | ホームページ<br><a href="http://www.housetec.co.jp/company/attention/2002/10/ho-350.html">http://www.housetec.co.jp/company/attention/2002/10/ho-350.html</a><br>電話番号：0120-551-654                                                 |
| TOTO<br><東陶ユプロ(株)<br>(現TOTO(株))>    | RPE32K * RPE40K *<br>RPE41K * RPH32K *<br>RPH40K * RPH41K *<br>製造期間：平成7年8月～平成11年6月                                                                   | ホームページ<br><a href="http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm">http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm</a><br>電話番号：0120-444-309                                                                                           |
| パーパス<br><高木産業(株)<br>(現パーパス(株))>     | TP-BS320 * D<br>(但し、TP-BS320は除く)<br>TP-BS402 * D<br>TP-BSQ402 *<br><TOTO(株)製><br>製造期間：平成7年8月～平成11年6月<br>AX-400ZRD<br><株ノーリツ製><br>製造期間：平成9年3月～平成13年3月 | ホームページ<br><a href="http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html">http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html</a><br>電話番号：0120-575-399                                                       |
| NEPON<br><ネボン(株)>                   | URA320 URA320S<br>URB320 URB320S<br>UR320 UR320S<br>UR404S<br><TOTO(株)製><br>製造期間：平成7年8月～平成11年6月                                                      | ホームページ<br><a href="http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm">http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm</a><br>電話番号：0120-444-309<br>TOTO(株)で受付                                                                             |
| CIC<br><長州産業(株)>                    | PDX-403D DX-403D<br>PDF-403D DF-403D<br>DX-403DF<br>製造期間：平成8年5月～平成11年10月                                                                             | ホームページ<br><a href="http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&amp;storyid=3">http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&amp;storyid=3</a><br>電話番号：0120-652-963               |
|                                     | PDF-321V PDF-401A<br>PDF-411D-A DX-411D<br>PDX-321V PDX-411D<br><TOTO(株)製><br>製造期間：平成7年8月～平成11年6月                                                    | ホームページ<br><a href="http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm">http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm</a><br>電話番号：0120-444-309<br>TOTO(株)で受付                                                                             |
| ツチヤ<br><東京ツチヤ販売(株)>                 | AX-402A EX-403A<br>FK-405A FC-406A<br><長州産業(株)製><br>製造期間：平成8年5月～平成11年10月                                                                             | ホームページ<br><a href="http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&amp;storyid=3">http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&amp;storyid=3</a><br>電話番号：0120-652-963<br>長州産業(株)で受付 |
| ワカサ<br><株ワカサ>                       | WBF-400C<br><長州産業(株)製><br>製造期間：平成8年5月～平成11年10月                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                              |

※機種・型式名の末尾の\*には英数字が続きますが、すべて該当品です。



該当機種 (写真是一部)

- ・本体と製品名・製造年月日は器具本体前面にシールにて表示されています。
- ＊形状は各社により、排気部の形状など異なります。
- ＊掲載写真は一部ですべてではありません。詳細はメーカーのホームページをご覧ください。



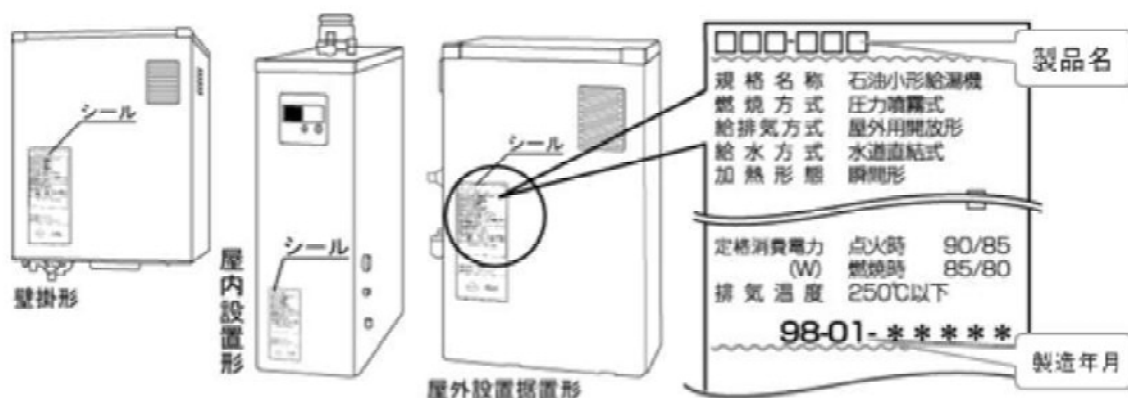
長州産業



TOTO



ノーリツ



(3) 松下エコシステムズ株式会社 (現 パナソニックエコシステムズ株式会社) が製造・輸入した除湿機について (管理番号A201200814)

①事象について

松下エコシステムズ株式会社 (現 パナソニックエコシステムズ株式会社) が製造・輸入した除湿機を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール (無償交換) について

同社及びパナソニック株式会社は、当該製品を含む対象機種 (下記③) について、当該製品内部のヒーターコイルの一部がヒーターコイル保持部品から外れ、当該部品に近接する樹脂製除湿ローターカバーに接触して出火するおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、平成24年5月24日にプレスリリース及びホームページへの情報掲載を行うとともに、同年5月25日に新聞社告、判明購入者へのダイレクトメールの送付などを順次行い、対象製品について無償交換を実施しています。



③対象製品：機種名・品番、製造・輸入期間、対象台数

| 機種名・品番                  | 製造・輸入期間                  | 対象台数    |
|-------------------------|--------------------------|---------|
| ハイブリッド方式除湿機<br>F-YHA100 | 平成16年12月<br>～<br>平成17年8月 | 33,411台 |
| ハイブリッド方式除湿機<br>F-YHB100 | 平成18年2月<br>～<br>平成19年1月  | 41,527台 |
| 合 計                     |                          | 74,938台 |

回収率

57.6%（平成25年1月24日現在）

対象製品の外観及び確認方法

1) 対象製品の外観



2) 品番の確認方法



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、まだ事業者の行う無償交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先までご連絡ください。

（パナソニックエコシステムズ株式会社及びパナソニック株式会社の問合せ先）

電 話 番 号：0120-228-285

受 付 時 間：9時～21時（日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://panasonic.co.jp/es/peses/info/important/12052401.html>

#### (4) 介護ベッド用手すりについて（管理番号A201200801）

##### 【消費者への注意喚起】

病院で使用者（８０歳代）が、頭部がベッドと当該製品との取付部の隙間に仰向けで入り込んだ状態で発見され、死亡が確認されました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

介護ベッド手すり（スイングアーム）の使用に際しては、グリップ部のすき間へ頭部などが入り込んだ場合、死亡や重傷などの重大な事故が発生する恐れがあります。現在、入り込みを防止する安全対策として、グリップ部のすき間を埋める簡易部品（樹脂製）が、事業者により供給されております。同様の製品を使用している場合は、事業者にご連絡いただき、簡易部品を取り寄せ、必ず装着するようにしてください。

##### ①再発防止に向けて（介護を行っている方々へのお願い）

介護ベッド用手すりの使用に際しては、本件事故のほかに、サイドレールとサイドレールのすき間に首等が入る事故やベッドサイドレールとヘッドボード（フットボード）のすき間に首等が入る事故、ベッドサイドレール自体のすき間に頭、腕や足が入る事故等が発生しています。

##### 1) ご使用中の手すりが新ＪＩＳ製品かどうかご確認ください

平成２１年３月にＪＩＳ規格が改正され、手すりと手すりのすき間及び手すりとのヘッドボード（頭側の板など）とのすき間の基準が強化され、安全性が向上しました。

死亡事故は、新ＪＩＳ規格ではない手すりを使用中に発生しています。よって、ご使用中の手すりが新ＪＩＳ規格でなければ、新ＪＩＳ規格の製品に取り替えていただくことを奨励します。

なお、新ＪＩＳ規格の製品かどうか不明な場合は、レンタル契約先事業者又は販売事業者にお問合せください。

##### 2) 新ＪＩＳ規格の製品への取替えが困難な場合など

新ＪＩＳ規格ではない手すりを使用する場合には、すき間を埋める対策を確実にとっていただけますようお願いいたします（別添１参照）。

- ・すき間を埋める対応品を使用する（対応品の内容については、各メーカーにご相談ください。）
- ・クッション材や毛布などですき間を埋める。
- ・サイドレールなどの全体をカバーや毛布で覆う。
- ・危険な状態になっていないか、定期的にベッド利用者の目視確認を行う。

等

##### ②再発防止への取り組み

日本福祉用具・生活支援用具協会及び医療・介護ベッド安全普及協議会においては介護ベッドのサイドレール・手すり等による事故等についての注意喚起の呼び掛けを行っておりますので御覧ください。

また、平成２４年６月６日付で、経済産業省及び厚生労働省は、全国の都道府県等の関係部局に対して「介護ベッド用手すりによる製品事故未然防止のための点検」依頼を行っております（別添２参照）。

更に、平成２４年１１月２日付けで、消費者庁では、全国の在宅介護者向けに行ったアンケート調査結果の公表及び注意喚起を行うとともに、地方自治体への協力依頼、新聞紙上での政府広報等により、事故の危険性や注意の周知を行っております。

（消費者庁のホームページ）

介護ベッドの手すり等による死亡事故が発生しています！

URL : [http://www.caa.go.jp/safety/pdf/121102kouhyou\\_3.pdf](http://www.caa.go.jp/safety/pdf/121102kouhyou_3.pdf)

医療・介護ベッド使用にかかる注意喚起の周知度調査の結果及び対策について

URL : [http://www.caa.go.jp/safety/pdf/121102kouhyou\\_2.pdf](http://www.caa.go.jp/safety/pdf/121102kouhyou_2.pdf)

(経済産業省のホームページ)

URL : <http://www.meti.go.jp/press/2012/06/20120606003/20120606003.html>

(厚生労働省のホームページ)

URL : <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002cv6c.html>

(日本福祉用具・生活支援用具協会のホームページ)

URL : <http://www.jaspa.gr.jp/>

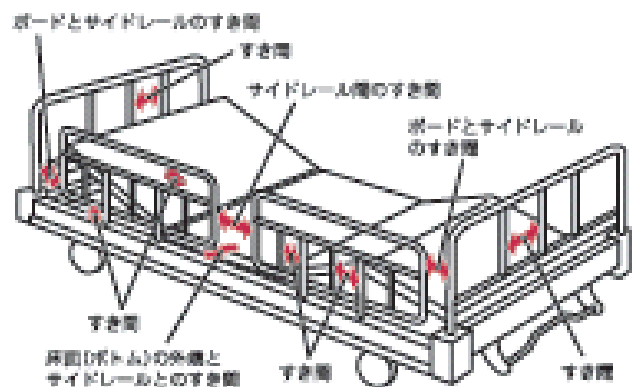
(医療・介護ベッド安全普及協議会のホームページ)

URL : <http://www.bed-anzen.org/>

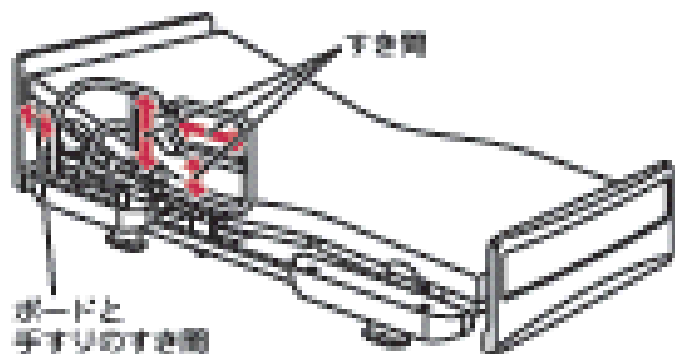
## 介護ベッド用手すりの事故防止対策

ここが危険なすき間です！

【サイドレール】



【ベッド用グリップ(開閉式バー)と手すり】

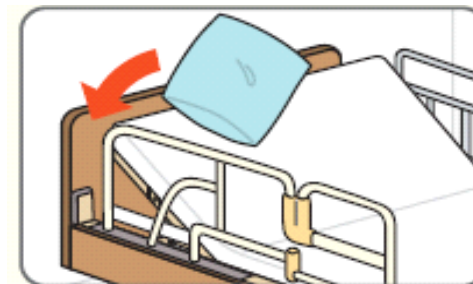


挟み込み防止対策の例  
(すき間を埋めて挟まれないようにする)

▼スペーサーですき間をふさぐ



▼クッションなどですき間を埋める



▼サイドレールをカバーで覆う



▼グリップと手すりをカバーで覆う

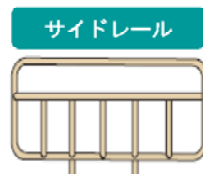


※平成21年3月にJIS規格が改正され、首や腕、足などを挟み込む事故を防ぐため、すき間を狭くした新JIS製品が製造・販売されています。早めに新JIS製品への取替えをお願いします。

# 医療・介護ベッド安全点検チェック表

## 医療・介護ベッドを安全にお使いいただくために

- ① 近年、医療・介護ベッドのサイドレールやベッド用グリップによる**死亡事故等**が報告されています。事故の多くは利用者の首や手足がサイドレール等のすき間や、内部の空間に入り込んだことによるものです。これらの事故の多くは、利用者の身体状況や使用状況によると思われるものであり、危険な部分があるかどうかの確認と正しい使い方によって未然に防ぐことができます。
- このたび「医療・介護ベッド安全普及協議会」では、サイドレール等による事故を未然防止していただくために、「**医療・介護ベッド安全点検チェック表**」を作成いたしました。医療・介護ベッドでサイドレール等をご利用の際には、このチェック表で点検項目を確認し、必要に応じて対応を行ってください。
- また、事事故例とその対応策を紹介した動画「**医療・介護ベッドに潜む危険**」もホームページで見ることができますので、合わせてご利用下さい。



サイドレールは、ベッドで寝ている人の転落や寝具の落下を予防するための製品です。



ベッド用グリップは、ベッド上での起き上がりやベッドからのたちあがりなどの動作を補助するための製品です。

- ・すき間を埋める対応品(スペーサー、サイドレールカバー等)のご利用は、各メーカーにお問合せください。
- ・製品事故の未然防止のため、安全対策が強化された2009年改正の新JIS規格が要求する寸法を満たす製品を使用すること一つの方法です。

### 特にご注意ください方

- ・発作、病状、症状などにより、自分の体を支えられずサイドレール等に倒れ込む可能性のある方
- ・自力で危険な状態から回避することができないと思われる方
- ・認知機能障害などにより、ベッド上で予測できない行動をとられると思われる方
- ・片マヒなどの障害などにより、体位を自分で保持できない方

### 留意事項

挟み込み事故予防の観点から、ベッドの利用開始前に、ベッドやサイドレール等におけるすき間を確認し、**ベッド利用者の心身の状態や、利用環境から、挟み込み事故の危険性がある場合は、以下の対応を行ってください。**

- ・クッション材や毛布などですき間を埋める
- ・すき間を埋める対応品を使用する(対応品の内容については各メーカーにご相談ください)
- ・サイドレール等の全体をカバーや毛布で覆う
- ・危険な状態になっていないか、定期的にベッド利用者の目視確認を行う

●製品や対応品に関するお問合せは、各メーカーをお願いします。

| 協議会会員            | お問い合わせ先      | ホームページ                                                                                                            |
|------------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アイシン精機株式会社       | 0566-24-8882 | <a href="http://www.aisin.co.jp/product/welfare/index.html">http://www.aisin.co.jp/product/welfare/index.html</a> |
| シーホネンス株式会社       | 0120-20-1001 | <a href="http://www.seahonence.co.jp/">http://www.seahonence.co.jp/</a>                                           |
| パラマウントベッド株式会社    | 0120-36-4803 | <a href="http://www.paramount.co.jp/">http://www.paramount.co.jp/</a>                                             |
| 株式会社プラッツ         | 0120-77-3433 | <a href="http://www.platz-ltd.co.jp/">http://www.platz-ltd.co.jp/</a>                                             |
| フランスベッド株式会社      | 0120-39-2824 | <a href="http://www.francebed.co.jp/">http://www.francebed.co.jp/</a>                                             |
| 株式会社モルテン         | 03-3625-8510 | <a href="http://www.molten.co.jp/health">http://www.molten.co.jp/health</a>                                       |
| 株式会社ランダルコーポレーション | 048-475-3662 | <a href="http://www.lundal.co.jp">http://www.lundal.co.jp</a>                                                     |

**S 医療・介護ベッド安全普及協議会** 【ホームページ】<http://www.bed-anzen.org> 【お問い合わせ先】03-3648-5510  
ホームページではベッドを正しく安全にご利用いただくための「動画」や「パンフレット」を掲載しています。



# 医療・介護ベッド安全点検チェック表

氏 名

記入日： 年 月 日

## チェック項目

※チェック項目ごとに危険がないか確認し、必要に応じて対応を行ってください。  
※チェック項目が該当しない、もしくは対応したら☑を入れましょう。

| チェック項目                                                                                                                                                                                                 | 事故事例と対応方法例                                                                                                                                                                                                                                                                     | チェック欄                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①ボードとサイドレール等の間に首を挟み込みそうなすき間はありませんか？<br/>(首の挟み込みに対して、より安全であるためのすき間寸法の目安は、直径6cmの物が入り込まないこと、もしくは23.5cm以上です。)</p>      | <p>《事故事例》<br/>無理な体勢でベッドの下にある物を取ろうとした時に、ヘッドボードとサイドレールのすき間に首を挟み込んでしまった。</p> <p>《対応方法例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ベッド周りを整理整頓し、利用者が身を乗り出さないように配慮しましょう。</li> <li>●ボードとサイドレール等のすき間をクッション材や毛布等を入れて埋めましょう。</li> <li>●新JIS規格が要求する寸法を満たすサイドレール等に交換しましょう。</li> </ul>    | <div style="text-align: center;">☐</div>  <p>クッションなど</p>     |
| <p>②サイドレールとサイドレール等の間に首を挟み込みそうなすき間はありませんか？<br/>(首の挟み込みに対して、より安全であるためのすき間寸法の目安は、直径6cmの物が入り込まないこと、もしくは23.5cm以上です。)</p>  | <p>《事故事例》<br/>ベッドの背中を上げた状態で、目を離している間に利用者がバランスを崩し、2本のサイドレールのすき間に首を挟み込んでしまった。</p> <p>《対応方法例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者から目を離す際は、ベッドの背中を必ずフラットに戻しましょう。</li> <li>●すき間を埋める対応品を利用しましょう。</li> <li>●新JIS規格が要求する寸法を満たすサイドレール等に交換しましょう。</li> </ul>                  | <div style="text-align: center;">☐</div>  <p>スペーサー</p>     |
| <p>③サイドレール等に頭を閉じ込みそうな空間はありませんか？<br/>(頭の閉じ込みに対して、より安全であるための目安は、直径12cmの物が通らないことです。)</p>                               | <p>《事故事例》<br/>ベッドから起き上がる際にバランスを崩し、サイドレール内の空間に頭が入り込んでしまった。</p> <p>《対応方法例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●カバーで覆われたサイドレール等や後付けカバーを必要に応じて利用しましょう。</li> <li>●すき間が小さく、より安全なサイドレール等に交換しましょう。</li> </ul>                                                                  | <div style="text-align: center;">☐</div>  <p>サイドレールカバー</p> |
| <p>④利用者の状態を確認しながら、ベッドの操作を行っていますか？</p>                                                                               | <p>《事故事例》<br/>利用者の手や足がサイドレールの中に入っている状態で、介護する方がベッド操作をし、手や足を挟んでしまった。</p> <p>《対応方法例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ベッドを操作する前と、操作中最低1度は動作を止めて利用者の状態を確認しましょう。(※看護・介護する方が立っている場所と反対側は、布団などの死角となり特に注意が必要です。)</li> <li>●カバーで覆われたサイドレール等や後付けカバーを必要に応じて利用しましょう。</li> </ul> | <div style="text-align: center;">☐</div>  <p>サイドレールカバー</p> |

※すき間を埋める対応品、カバーで覆われたサイドレール等や後付けカバーは各メーカーにお問い合わせ下さい。

※経済産業省及び厚生労働省の「介護ベッド用手すりによる製品事故未然防止のための点検」より抜粋

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課  
(製品事故情報担当) 担 当：大木、長井、川船<sup>かわふね</sup>  
電 話：03-3507-9204 (直通)  
F A X：03-3507-9290

(株式会社オカキンが製造した屋外式(RF式)ガスふろがま(LPガス用)についての発表資料に関する問合せ先)

(東陶ユプロ株式会社(現 TOTO株式会社)が製造した石油給湯機についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室  
担当：宮下、谷、山田 電 話：03-3501-1707 (直通)  
F A X：03-3501-2805

(松下エコシステムズ株式会社(現 パナソニックエコシステムズ株式会社)が製造・輸入した除湿機についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室  
担当：宮下、古田、長沼 電 話：03-3501-1707 (直通)  
F A X：03-3501-2805



1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

| 管理番号       | 事故発生日       | 報告受理日      | 製品名                   | 機種・型式           | 事業者名     | 被害状況 | 事故内容                                                                   | 事故発生都道府県 | 備考                                                                                                    |
|------------|-------------|------------|-----------------------|-----------------|----------|------|------------------------------------------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A201200797 | 平成24年12月18日 | 平成25年1月21日 | 石油ストーブ(開放式)           | SX-E296WY       | 株式会社コロナ  | 火災   | 当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。ガソリンを誤給油した可能性を含め、現在、原因を調査中。                  | 岡山県      | 事業者が事故を認識したのは、1月10日                                                                                   |
| A201200798 | 平成25年1月2日   | 平成25年1月21日 | 石油給湯機付ふろがま            | UKB-3300TXA(F)  | 株式会社コロナ  | 火災   | 当該製品の追い焚きスイッチを押したところ、異臭と異音が生じ、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。 | 北海道      | 製造から10年以上経過した製品<br>1月18日に消費者安全法の重大事故等として公表済                                                           |
| A201200799 | 平成25年1月9日   | 平成25年1月21日 | 石油給湯機付ふろがま            | UKB-3300TXA(MS) | 株式会社コロナ  | 火災   | 当該製品を使用中、外の異常に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。               | 福島県      | 製造から10年以上経過した製品                                                                                       |
| A201200802 | 平成25年1月10日  | 平成25年1月21日 | 石油ストーブ(開放式)           | RS-D295         | 株式会社トヨミ  | 火災   | 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。                                        | 岩手県      | 1月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済                                                                              |
| A201200803 | 平成25年1月14日  | 平成25年1月21日 | 屋外式(RF式)ガスふろがま(LPガス用) | OK-AR型-LE       | 株式会社オカキン | 火災   | 当該製品を使用後、異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。               | 広島県      | 平成19年4月19日からリコールを実施(特記事項を参照)<br>改修率 72.1%<br>1月18日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済事故<br>1月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済 |

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)(続き)

| 管理番号       | 事故発生日      | 報告受理日      | 製品名        | 機種・型式      | 事業者名                       | 被害状況 | 事故内容                                                                 | 事故発生都道府県 | 備考                                                                                        |
|------------|------------|------------|------------|------------|----------------------------|------|----------------------------------------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| A201200807 | 平成25年1月15日 | 平成25年1月22日 | 石油給湯機      | RPH32KSS   | TOTO株式会社[製造:東陶ユプロ株式会社(解散)] | 火災   | 当該製品を使用中、異音に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。                   | 千葉県      | 製造から15年以上経過した製品<br>平成14年10月24日からリコールを実施(特記事項を参照)<br>改修率 88.3%<br>1月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済 |
| A201200812 | 平成25年1月5日  | 平成25年1月22日 | 石油給湯機付ふろがま | BCB-503VG  | 長州産業株式会社                   | 火災   | 漏電遮断機が作動したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。 | 富山県      | 製造から15年以上経過した製品                                                                           |
| A201200815 | 平成25年1月13日 | 平成25年1月23日 | 石油給湯機付ふろがま | KIBF-422DS | 株式会社長府製作所                  | 火災   | 当該製品を使用中、異音に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。        | 香川県      | 製造から10年以上経過した製品                                                                           |

## 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

| 管理番号       | 事故発生日      | 報告受理日      | 製品名       | 機種・型式    | 事業者名                                          | 被害状況 | 事故内容                                                                              | 事故発生都道府県 | 備考                                                                    |
|------------|------------|------------|-----------|----------|-----------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------------------------------------|
| A201200800 | 平成25年1月11日 | 平成25年1月21日 | エアコン(室外機) | 2M606XV  | ダイキン工業株式会社                                    | 火災   | 当該製品を使用中、異臭に気付き確認すると、当該製品から発煙し、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。                 | 大阪府      | 製造から10年以上経過した製品<br>1月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済                           |
| A201200809 | 平成25年1月13日 | 平成25年1月22日 | サーキュレーター  | KJ-D997  | ツインバード工業株式会社<br>(輸入事業者)                       | 火災   | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。                                          | 兵庫県      | 1月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済                                              |
| A201200813 | 平成25年1月9日  | 平成25年1月23日 | 布団乾燥機     | FD-F06A4 | 松下エコシステムズ株式会社(現 パナソニックエコシステムズ株式会社)            | 火災   | 当該製品を使用中、異臭に気付き確認すると、コンセントと当該製品の電源プラグの接続部から発煙する火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。現在、原因を調査中。 | 東京都      |                                                                       |
| A201200814 | 平成25年1月12日 | 平成25年1月23日 | 除湿機       | F-YHB100 | 松下エコシステムズ株式会社(現 パナソニックエコシステムズ株式会社)<br>(輸入事業者) | 火災   | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。                                          | 長崎県      | 平成24年5月24日からリコールを実施(特記事項を参照)<br>回収率 57.6%<br>1月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済 |

### 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

| 管理番号       | 事故発生日       | 報告受理日      | 製品名       | 被害状況 | 事故内容                                                                   | 事故発生都道府県 | 備考                                                                                                                                                                              |
|------------|-------------|------------|-----------|------|------------------------------------------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A201200801 | 平成25年1月8日   | 平成25年1月21日 | 介護ベッド用手すり | 死亡1名 | 病院で使用者(80歳代)が、頭部がベッドと当該製品との取付部の隙間に仰向けで入り込んだ状態で発見され、死亡が確認された。現在、原因を調査中。 | 石川県      | 事業者名:パラマウントベッド株式会社<br>機種・型式:KA-088<br>当該事故は、製品起因か否かが特定できていないものであるが、当該製品の使用者・所有者・管理者に向けて事故の危険性を周知し、事業者及び協議会で呼び掛けしている、すき間を埋める安全対策(クッションなどで埋める)を着実に促すため事業者名及び機種・型式を公表するもの(特記事項を参照) |
| A201200804 | 平成24年12月14日 | 平成25年1月21日 | 湯たんぽ      | 重傷1名 | 当該製品を使用中、低温火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。                              | 福岡県      | 事業者が事故を認識したのは、1月15日                                                                                                                                                             |
| A201200805 | 平成24年12月8日  | 平成25年1月21日 | 湯たんぽカバー   | 重傷1名 | 当該製品に湯たんぽを入れて使用中、足に低温火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。                    | 東京都      | 事業者が事故を認識したのは、1月16日<br>湯たんぽに関する事故(A201200808)と同一<br>1月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済                                                                                                    |
| A201200806 | 平成25年1月7日   | 平成25年1月21日 | 昇降便座      | 重傷1名 | 施設で使用者が当該製品に着座したところ、バランスを崩して転倒し、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。           | 石川県      |                                                                                                                                                                                 |
| A201200808 | 平成24年12月8日  | 平成25年1月22日 | 湯たんぽ      | 重傷1名 | 当該製品を湯たんぽカバーに入れて使用中、足に低温火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。                 | 東京都      | 事業者が事故を認識したのは、1月16日<br>湯たんぽカバーに関する事故(A201200805)と同一                                                                                                                             |

### 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故(続き)

| 管理番号       | 事故発生日       | 報告受理日      | 製品名      | 被害状況 | 事故内容                                                           | 事故発生都道府県 | 備考                  |
|------------|-------------|------------|----------|------|----------------------------------------------------------------|----------|---------------------|
| A201200810 | 平成24年12月13日 | 平成25年1月22日 | 椅子       | 重傷1名 | 事務所で当該製品に着座中、転倒し、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。                  | 大阪府      | 事業者が事故を認識したのは、1月12日 |
| A201200811 | 平成24年11月29日 | 平成25年1月22日 | ヒーター付き靴下 | 重傷1名 | 当該製品を履いていたところ、足の裏側に火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。              | 京都府      | 事業者が事故を認識したのは、1月11日 |
| A201200816 | 平成24年12月28日 | 平成25年1月23日 | 延長コード    | 火災   | 当該製品に電気製品を接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。 | 群馬県      |                     |

### 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報専門調査会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

エアコン（室外機）（管理番号：A201200800）



布団乾燥機（管理番号：A201200813）





介護ベッド用手すり（管理番号：A201200801）

